



青 於

9月号



サマースクール (7/24~28)

夏休みが始まってすぐに、サマースクール4日間がありました。教室を回ってみると、全員が静かに勉強をしていました。休み時間は、楽しそうに先生や友だちとおしゃべりなどをしていました。「勉強するときは、静かに勉強する」「遊ぶときは、元気に遊ぶ」など、気持ちの切り替えがきちんとできます。



PTA奉仕作業 (8/26)

早朝より作業にご協力いただき、ありがとうございました。おかげで、運動会に向けて、学校の周辺がとてもきれいになりました。始業式の話の中で、子どもたちに、「み

んなで協力すれば、短い時間でも、何でもできる」ということを話しました。

2学期始業式 (9/1)

久しぶりに、子どもたちの元気な姿をみることができました。これも、保護者の皆さまや地域の方のご指導のおかげです。ありがとうございました。3年生に転入生があり、全校96名になりました。



地震の避難訓練 (9/6)



避難訓練に関して、2つの話をしました。

①地震のときに、守らなければならない大切な言葉。

お…おさない、か…かけない、し…しゃべらない
も…もどらない、ち…ちかよらない(ちらばらない)

②Jアラート(全国瞬時警報システム)について

「ミサイル発射」の警報が発令したら、

○窓・雨戸・カーテンを閉める。

○トイレや浴室へ逃げる。

○低い姿勢で、耳をふさぎ目を閉じる。

詳しくは、
首相官邸HPを
ご覧ください。

朝会の話(9/11)「長崎の原子爆弾」

72年前の8月9日午前11時2分、B29から原子爆弾「ファットマン」が投下され、長崎上空500m地点で爆発しました。原爆の「爆風」「熱線」「放射線」によって、爆心地から半径1km以内は建物が吹っ飛び、人々は即死、4km以内でも爆風で飛ばされたガラスなどでケガをしたり、熱線でやけどをしました。当時の長崎市の人口が約24万人で、約8万人が死亡、約8万人がケガをしました。爆心地の近くには平和公園があり、毎年8月9日に、原爆の犠牲になった人々の冥福を祈り、世界平和がいつまでも続くことを願って平和祈念式典が行われています。また、この公園の入口に、噴水のある池があります。水が飲みたくても、飲めないまま死んでいった人のために、たくさんの水が飲めるようにきれいな池を作りました。

長崎に行く機会があったら、平和公園や原爆資料館などで、戦争の爪痕を見学してください。「平和の大切さ」「命の大切さ」を感じられると思います。



秋季大運動会 (9/16)

保護者の皆さまや地域の皆さまに、最後までご声援いただいたおかげで、今年の運動会のスローガンである「心一つに輝け！96人が主人公」が達成できました。ありがとうございました。また、子どもたちは、自分の種目や演技をがんばるだけでなく、がんばっている友だちを応援したり、放送や準備などの係活動がんばることもできました。

